

中小企業の受注機会確保のため 分離・分割発注の推進を！

公園照明灯LED化は一括発注でなく、分割発注すべき

市内全域の公園照明灯LED化を総額2億5000万円で一括発注する契約議案が12月議会に提案され、日本共産党以外のすべての会派の賛成で可決されました。上野みえこ議員は、問題点を指摘し、質疑を行いました。

1700基もの照明灯のLED化は、分割発注が可能

今回の契約では、地元2企業と一部上場大企業(東京本社)のJVが受注しています。区ごとに発注すれば、入札に参加した5事業者がすべて受注可能となります。

また、1700基の照明灯のLED化等を10年間かけて順次工事を行う予定です。単年度の発注で契約すれば、それだけでも分割発注となり、参加事業者が増えます。

他都市では積極的に分離・分割発注を実施

堺市では、2014年4月に「物品調達及び業務委託に関する調達契約方針・堺市調達方針」を定め、「経済性・競争性の確保に留意しつつ、市内で調達可能なものは市内で完

結する仕組みを構築し、地元事業者の発展を側面から支援」という方針を明らかにし、具体的な方法に「適正な分離・分割発注の促進」を挙げ取り組んでいます。

国も法に基づき、中小企業向け契約を推進

国は「官公需についての中小企業者の受注の確保に関する法律」に基づき、毎年「中小企業者に関する国等の契約の基本方針」を定め、閣議決定。国として、中小企業・小

規模事業者向け契約の目標値を定めています。最新の2018年度版では、中小企業・小規模事業者向けの契約比率は前年度実績で51%を55・1%まで引き上げる目標です。

日本共産党 市議会だより

熊本市中央区手取本町1-1 3階
発行：日本共産党熊本市議団
上野みえこ なすまどか

NO. 1171
2020年1月19日号
電話 328-2656
FAX 359-5047



メール: kumamsu@gamma.ocn.ne.jp
HP: [共産党 熊本市議団](#) [検索](#)



健軍駐輪場・待ちに待ったオープン

熊本地震による被災のため閉鎖となっていた健軍駐輪場の整備が完了し、1月22日から利用が「無料」でスタートとします。

ぜひ、ご利用ください。



(名称) 熊本市健軍自転車駐車場
自転車550台・原付112台
(利用時間) 24時間
(利用料) 無料
(場所) 東区若葉1丁目36-6

【控室から】

若い力が社会を動かす

上野 みえこ



1月13日の「成人の日」は、各地でさまざまな新成人を祝う催しが行われました。私は、市議会・教育市民委員に案内のあった熊本市成人式と、子どもが通った高校で毎年行われている成人を祝う集いに参加しました。振袖やスーツに身を包んだ若者たちの様子は、とても晴れやかでした。一人の主権者として、社会のことに関心を持ち、視野を広げ、学び、語り、考え、行動してほしいと心から願っています。

いま世界では、温暖化に歯止めをかけ地球環境を守っていくこうと思いを発信したスウェーデンの17歳のグレタ・トゥンベリさんの訴えが各地で受け止められ、世界を動かしています。

日本では、高い学費の問題やブラックな働き方など、若者を取り巻く状況は、決して穏やかなものではありません。しかし、ジエnder平等も含めて、若い人たちが直面する問題に、自身が立ち上がり、行動する動きが始まっています。

私もまた、若い人たちの思いをしっかりと受け止め、希望ある未来へ、若者たちが直面する課題に向き合っていきたいと思っています。

「ダムによらない治水」の推進を！・・「坪井川遊水地」の現状を調査

昨年12月14日、「立野ダムによらない自然と生活を守る会」主催で行われた「坪井川遊水地・白川堤防の見学会」がありました。熊本市中心部を洪水から守るためにつくられている「坪井川遊水地」や新しく構築された「白川堤防」の現状を調査しました。

遊水池のおおきな洪水調節能力



坪井川遊水池は、北区高平2丁目の高平橋から、中央区坪井5丁目の永康橋までの周辺一帯に4つの遊水地があります。

4つの遊水池合わせて、

- ・面積 56.6ha
- ・貯水量 108万m³
- ・洪水調節量 毎秒83m³

過去の大雨では、遊水池と同じくらいの面積が冠水していました。

遊水地完成後は、満水となれば50mプール400杯分(約100万m³)の流水を溜めこみ、坪井川の水位が高くなるのを防ぐことができるようになりました。



(遊水地から坪井川への排水門)



遊水地(ゆうすいち)とは、洪水時の河川の流水を一時的に氾濫させる土地のこと。下流の水害を軽減する目的で河川に設置される。

右は、「越水堤」です。川の水が増えた時に、水が遊水地に入ってくるようになっています。



遊水地は、日常的には公園やグラウンドなど、さまざまに活用されています。左の写真は、校区のグラウンドです。

白川流域には、坪井川遊水地を上回る遊水地群

【白川流域の遊水地】

	総貯水量 (m³)
小倉遊水地	264万
手野遊水地	148万
内牧遊水地	35万
黒川遊水地群	686万

坪井川遊水地の10倍以上となるので、洪水調節量もそれ相当と考えられます。立野ダムの洪水調節量・400 m³/sを大きく上回る洪水調節能力です。

かけがえのない自然を壊し、災害が起これば流域に危険をもたらす立野ダムに1000億円近い投資をするよりも、河川改修や遊水地の整備など、ダムによらない治水にこそ力を入れるべきです。

白川流域には、坪井川遊水地をはるかに上回る複数の遊水地があります。国土交通省と県は、洪水調節量 (m³/s) を開示していませんが、すべてを合わせると、貯水量は